



FUCHU CITY

議会だより

No.
113

発行／府中市議会議長 令和6年8月1日発行 編集・広報広聴特別委員会
TEL(0847)44-9182・FAX(0847)45-3212 ホームページ <http://www.city.fuchu.hiroshima.jp>

府中市議会情報誌
第113号



議長就任挨拶

本谷 宏行



議会は、一般論として「行政執行部の追認機関」と揶揄されることも多く、本来の機能を十分に発揮することが求められています。

私たち府中市議会は、二元代表制の一翼として、市長をはじめとする行政と、緊張関係を保ちながら連携し、市政の監視及び評価、政策提言など、議会機能を強化し、市民の皆様にとって開かれた議会とすべく「チーム議会」として総力をもって役割と責任を果たしてまいります。

また、「議会フリースピーチ」の導入など、市民参画の機会を充実してまいりますので、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

真田議員	森川議員	水田議員	藤本議員	加藤議員	加島議員	(後列)
岩室議員	田辺副議長	安友議員	福田議員	土井議員	三藤議員	(中列)
桑田議員	本谷議長	広瀬議員	岡田議員	大本議員		(前列)

6月議会

令和6年度府中市一般会計予算(第1号)を可決!

6月定例会は、6月17日から7月2日まで16日間開き、議案5件、報告7件、意見書2件を審議、議決しました。

主 な 議 案

・令和6年度府中市一般会計補正予算(第1号)について

既定の予算の総額に、歳入歳出それぞれ6億7,167万8千円を追加し、歳入歳出それぞれ266億8,167万8千円とする。



・市道路線の認定について

個人及び法人からの寄付により府中市に帰属することとなった整備済み道路と、それに接続する市所有の公衆用道路を市道広谷25号線として認定する。



・府中市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について

地方公共団体の職員が行う災害応急作業等について、府中市においても支給ができるように改正を行うとともに、その他所要の改正を行う。



・聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書の提出について

難聴の方と円滑なコミュニケーションが取れる社会の構築を目指し、行政等の公的窓口などに、標準として聴覚補助機器等の配備をおこなうこと 等



5月臨時会は、5月16日に1日開き、議案6件を審議、議決しました。

主 な 議 案

5月臨時会

・府中市税条例の一部改正について

地方税法等の一部を改正する法律(令和6年法律第4号)が令和6年3月30日に公布され、令和6年4月1日から施行されたこと等に伴い、改正を行う。



・府中市国民健康保険税条例の一部改正について

地方税法等の一部を改正する法律(令和6年法律第4号)が令和6年3月30日に公布され、同年4月1日から施行されたことに伴い、改正を行う。



一般質問

Q & A

6月20日、21日 13人の議員が
市政を問う！



市民クラブ
みずた 豊
水田

上下高校の存続



Q 今春の入学者は28名だが、全校生徒は60人未満である。存続に向けての現状と課題を伺う。

A 来年度入学者数が20人以上でないとならないと全校生徒数が60人にならず、再編整理の対象となる。上下中学校3年生は22人で、地元進学率の向上と近隣中学生の獲得を目指す。下宿先の呼びかけに2件応募があり、県外生徒受け入れ校として県のホームページに掲載された。来年が正念場であり、上下高校支援を地域の発展のためにも全力で取り組む。



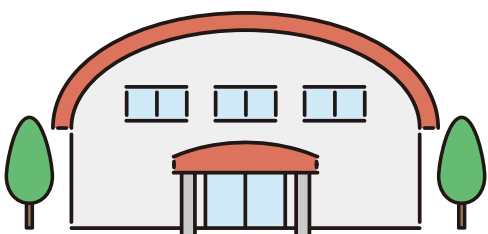
市民クラブ
しほうち のりあき
芝内 則明

スポーツを活用した賑わいの創出



Q 町内会・学区体育会行事の施設使用料は免除となっている。ところが、65歳以上の方々の団体が使用する場合は、2分の1の減免となっていない。いろいろな方々の活動に対して免除を検討できないか。

A 全額免除、半額免除といった規定をしているが、今後もこれを変えないということはない。施設の使用状況や市民の皆さんの意見も踏まえて、今後しっかりと検討していきたい。



市民クラブ
どい もとじ
土井 基司

公共サービスの 人材確保



Q 少子化で労働人口が減少し、市役所など公共サービスの人材確保が厳しい状況にある。現状と対策を伺う。

A 退職者数、業務量、年齢構成、専門的職種の引き継ぎなどを見据え採用している。応募者が減っており、年齢引き上げ、社会人・氷河期採用などを実施している。辞退者もいるが、補充合格や追加試験も検討している。中途退職者は10名程度で推移しており、やりがい向上、仕事と家庭の両立を意識した取り組みを拡大していく。



創生会
さなだ みつお
真田 光夫

ひきこもりへの 取り組みについて



Q ひきこもりは、生きづらさが原因で、誰にでも起こり得る。啓発活動や勉強会が実施されているかを伺う。

A ひきこもりには本人の甘えや怠け、親の育て方の問題といった根強い偏見があり、相談できない状況が多い。この問題は自己責任ではなく、社会全体の問題として捉えるべきである。正しい理解を促すため、市と社会福祉協議会が連携し、支援者や市民向けの講演会を開催している。今年度は8月に開催予定である。



創生会
みとう つよし
三藤 毅

管理不全空き家の 除却促進



Q 「空き家を除却したいが、除却すると固定資産税が高くなるらしい」という住民の不安にこえて、空き家除却後の固定資産税を最大3年間減免する措置を設けている自治体がある。当市においても管理不全空き家の除却促進のため、このような減免制度を設けてはどうか。

A 空き家除却の推進については、固定資産税についての住宅用特例と同様の減免制度を、今後研究していきたい。



創生会
ひろせ かずひこ
広瀬 和彦

行政事務の適正化



Q 令和5年6月から令和6年5月までに5件の行政事務処理のミスが発生している。市民サービスに直結している行政事務の適正化が図られていないのではないかと。再発防止について伺う。

A 各部署において、過去からの知見や工夫等によって適正化や効率化が一定程度図られているものと理解している。しかし過去の前例を疑わず業務を遂行しているところもあり、反省すべき点はある。改善の努力を継続していく必要があると認識している。





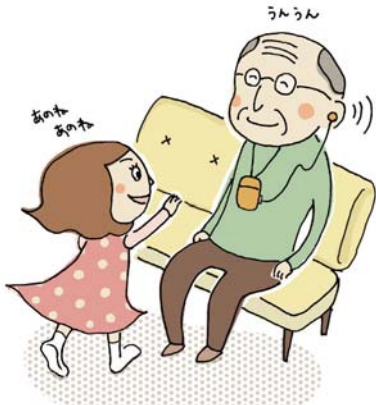
公明党
かしま ひろのぶ
加島 広宣

補聴器の購入補助



Q 加齢によって耳の聞こえが悪くなる加齢性難聴者が今後増えてくると考えられる。認知症対策と予防のためにも、補聴器購入補助を行うのはどうか伺う。

A 加齢性難聴者への補聴器購入に対する補助制度の創設については、その効果などを研究し、他の補助金との優先順位も加味しながら、検討していきたい。



公明党
おおもと ちかこ
大本千香子

フリーWi-Fiの整備



Q 多くの公共施設にフリーWi-Fiが整備されて喜ばれているが、府中市保健福祉総合センター（リ・フレ）と市庁舎は未整備である。今後の取り組みを伺う。

A フリーWi-Fi整備の基準は、公共性、観光振興、防災拠点の3点としている。リ・フレは多くの方が集まる公共性の高い施設でもあり、応急的な対応をしたい。利用状況を観察して、常備配置を検討したい。



経政会
ふじもと ひでのり
藤本 秀範

鳴谷広谷線の潜水橋



Q 令和2年河川整備計画策定変更から、方針を改めて考えるのか伺う。

A 見直しの必要は承知しているが、現況のものをそのままつくることは危険だと考えており、潜水橋の原形復旧は行わないことを決定している。市民サービスをどのようにやっていくのが議論の争点と考えている。説明会の開催もなるべく早い段階で開きたい。



経政会
たなべ なる
田辺 稔

湯が丘病院改築計画の見直し



Q 入院患者が毎年7人程度減少しており、市からの繰り出し金も増加傾向にある。新病棟の建てかえ開始前に、この機会を捉えて、建てかえ計画を一旦ストップして見直しの議論を進めてはどうか。

A 湯が丘病院の地域の特性、精神科病院としての役割を考える中で、建てかえスケジュールをずらすわけにはいかない。また3、4年前と比べて建設コストが倍ぐらいに上昇しており、建てかえ時期を遅らせることは、建てかえ事業自体に影響を及ぼすものと考えている。



COMMONS未来
やすとま まさあき
安友 正章

消滅可能性の都市府中市



Q 府中市は、人口戦略会議が公表した消滅可能性の自治体として取り上げられた。どのような課題意識をもって人口減少や少子化対策に取り組むのか。

A 取り上げられたことについては重く受け止め、今まで以上に人口減少に対して向き合う必要がある。府中市のもつ豊かな自然や歴史の魅力を最



大限に生かし、観光や産業の振興を図ることで活力ある町となり、若者や子育て世代に選ばれる町として消滅可能性自体から脱却したい。



COMMONS未来
いむむろ ゆうた
岩室 雄大

令和5年度PTA要望



Q PTAから毎年度要望書が提出されているが、回答が遅いと聞く。また、学校の改修や修繕はPTAから要望するような案件なのか、その対応について伺う。

A 令和5年度に提出のあった要望書について、6月12日のPTA連合会役員会で回答した。その内容を取りまとめるには、ある程度の期間が必要のため、PTA連合会とも期限を確認しながら、なるべく早く回答したいと考えている。安全対策、施設の修繕を含め、児童生徒にとつてよりよい教育環境を整えることは教育委員会としての責務であり、引き続き計画的・継続的に予算確保に努めたい。



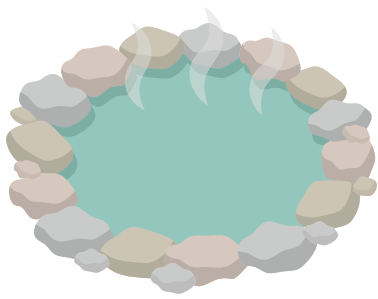
無所属
おかだ たかゆき
岡田 隆行

矢野温泉の活用



Q 今年度、環境省が公開する予定となつている「矢野温泉・国民保養温泉地計画書」において、府中市としては今後の温泉活用をどの様に方針に明記していくつもりか。

A 府中市としても、矢野温泉は大変重要な観光資源と認識している。計画書では、上下エリア全体で、温泉を一つの観光資源として活用していきたいという内容になっている。今後、地域の皆様方の意見も反映していきたい。



委員会審査

総務文教常任委員会



厚生常任委員会



建設産業常任委員会



●「議案第56号、府中市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について」
(原案可決)

Q 特殊勤務に従事する手当日額1千80円の根拠について伺う。

A 国では、大規模災害時の応急作業従事者には、相当高い肉体的、精神的労苦が伴うことを踏まえ、一律に現行手当額の最大額1千80円を支給できることが示されている。本市においても、こうした動向を根拠に日額支給を1千80円とし、1月に遡及して対象者9名に支給する。

●「報告第6号 令和5年度府中市病院事業会計予算繰越計算書と報告第7号 令和5年度府中市一般会計事業会計予算繰越計算書について」

Q 湯が丘病院の建てかえについて、設計が出ないと総額がわからないと思うが、湯が丘病院建設費用の当初予想と現在の見込みについて伺う。

A 当初の建設コストを20億円から30億円と想定していたが、他市町の病院建設の事例でも建設コストが約2倍に上がっており、現在は40億円から60億円に上昇する可能性があるかと懸念している。

●「報告第4号 令和5年度府中市一般会計繰越明許費繰越計算書について」

Q 市として繰り越しが出来ないようにするための対応策は、考えていないのか。

A 繰り越しができるだけでなく、速やかな契約などを心がけていくのは、当然やっていくべきだと考えている。一方で、国の方も、補正予算は15か月予算と言われるように、最近では大型の補正を組んでいた。どうしても補正にかかわることについては、繰り越さざるを得ない部分もある。一方で、そういう要素も含めながら、速やかな入札も含め対応をしていけるように取り組んでいきたい。

予算特別委員会審査

議案第58号 令和6年度府中市一般会計補正予算(第1号)について

総務文教分科会

●「市公認Vチューバーによるシティプロモーション事業」について

Q 事業の経緯と補正予算の理由について伺う。

A 昨年9月に70周年記念事業として公募した中に、市の広報キャラクターを作ろうという提案があり、住民投票を行い、事業として採択したところである。

当初はイラストとしての広報キャラクターを想定していたが、Vチューバーとして活用したいとの提案を受け、プロモーションに係る費用の財源として、デジタル田園都市国家構想交付金が採択されたことから、このたびの補正となった。

おむらさき
大夢楽咲煌です。
よろしくをお願いします。



厚生分科会

●「新型コロナウイルス接種事業」について

Q ワクチン接種費用等の詳細について説明してほしい。

A これまで全額国費で実施されていた特例臨時接種は、今年度から定期接種という位置づけになる。接種期間は10月1日から翌年の3月31日で、対象者は65歳以上の高齢者と60歳から64歳の重度障害の方である。接種費用は1回当たり1万5千300円で、国の助成金8千300円を差し引いた実質費用7千円を市と被接種者が負担する。非課税世帯は無料で、そのほかの方は2千100円の自己負担となる。定期接種対象外の方は任意接種となり、医療機関が定める額を全額負担となる。

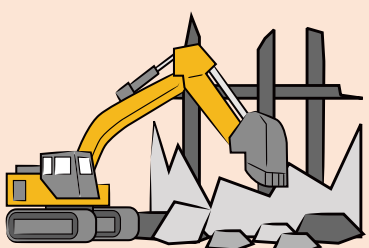
建設産業分科会

●4款 衛生費について

Q 旧環境センター解体工事について、事前に地盤調査を行う、工法を決めて入札にかけるものではないのか伺う。

A 今回の解体工事は、旧環境センターが建設されたことや、また、旧環境センター建設当時、現在の地盤高よりも2メートルぐらい低かったことから、建設時には開削工法を採用して矢板は利用していなかったと聞いていた。

また、解体工事を設計する際に、土壌汚染が分かったが、その際に過去の航空写真等も調査した中で、この場所は、昔、田畑であったものと推測していたことから、解体工事段階では、まずは、矢板の圧入工法でできるものと判断していたため、事前に地盤調査をするところにはいなかった。



市政参画促進特別委員会報告まとめ

令和4年7月

市政参画促進特別委員会発足

★市民が市政参画を実感でき、市議会への関心向上に繋がる取り組みについて検討する

同年10月～11月

高校生・一般市民にアンケート

令和6年1月

次の8項目を議会運営委員会に申し入れた



広報広聴特別委員会のあり方検討

議会だより編集発行・発信の強化・広聴機能の強化のための体制整備

令和5年度政務活動費の報告

各会派及び無所属議員に政務活動費として議員一人当たり、年間24万円が交付されます。
政務活動費の詳細は、府中市ホームページでご確認ください。



会派名	人数	支給額	使用額計	使用項目	項目別使用額	主な使用内容	内 容
創生会	9人	2,160,000円	1,901,838円 交付金の返還額 (▲258,162円)	研究研修費	335,080円	全国市議会議長会研究フォーラム(福津市)等	「移住・交流ビジネス化について」等
				資料購入費	208,868円	日経グローバル年間購読料等	日経グローバル年間購読料(令和5年4月～令和6年3月)
				調査旅費	1,342,890円	豊田市、名古屋市、SOFIX農業振興機構等	「中山間地域における高齢者の移動支援の取り組み」等
				事務所費	15,000円	備品購入費	ホワイトボード購入
市民クラブ	3人	720,000円	604,743円 交付金の返還額 (▲115,257円)	広報費	401,545円	広報紙発行印刷費、折込料等	「市民クラブニュース」発行
				資料購入費	5,720円	書籍購入費	「政治と政治学のあいだ」等
				調査旅費	197,478円	東京都府中市、都留市、香取市	「両市の市政70周年記念事業について」等
公明党	2人	480,000円	320,007円 交付金の返還額 (▲159,993円)	研究研修費	18,627円	全国市議会議長会研究フォーラム(福津市)等	「移住・交流ビジネス化について」等
				調査旅費	301,380円	豊田市、名古屋市、SOFIX農業振興機構等	「中山間地域における高齢者の移動支援の取り組み」等
新しい風	2人	480,000円	178,942円 交付金の返還額 (▲301,058円)	研究研修費	50,000円	講師謝金(福山大学 佐藤教授)	「地方財政についての現状の問題と課題について」
				調査旅費	128,942円	新座市、経済産業省、文京区	「にいざビジネスサポートの機能やその運用と成功事例の調査」等
無所属	岡田隆行	240,000円	240,000円	研究研修費	72,480円	喜山倶楽部、日本教育会館	「地方議会議員政策セミナー」
				資料購入費	43,450円	新聞購読料等	日本教育新聞購読料(令和5年4月～令和6年3月)等
				広報費	124,070円	広報紙発行印刷費、折込料等	「たんぽぽ」発行
無所属	藤本秀範	240,000円	189,021円 交付金の返還額 (▲50,979円)	研究研修費	124,550円	JIAM(大津市)研修	「地方議員のための政策法務～政策実現のための条例提案に向けて～」
				調査旅費	64,471円	新座市、経済産業省、文京区	「にいざビジネスサポートの機能やその運用と成功事例の調査」等

5月・6月議会での各議員の議決結果 (賛否が分かれたもの、主なもののみ掲載しています。詳細は府中市ホームページをご覧ください)

議員名		本谷	岡田	藤本	真田	岩室	芝内	森川	福田	安友	土井	田辺	広瀬	加藤	水田	加島	大本千香子	三藤	梶田
議案名		宏行	隆行	秀範	光夫	雄大	則明	稔	勉	正章	基司	稔	和彦	吉秀	豊	広宣		毅	澄子
人 事	固定資産評価員の選任の同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
条 例	府中市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
条 例	府中市都市計画税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
条 例	府中市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
条 例	府中市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
条 例	府中市観光地設置及び管理条例及び府中市羽高湖サン・スポーツランド設置及び管理条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
人 事	監査委員の選任の同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	－	○	○	○	○	○
事 件	市道路線の認定について	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条 例	府中市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条 例	府中市コミュニティホーム設置及び管理条例の一部改正について	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予 算	令和6年度府中市一般会計補正予算（第1号）について	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(－議長は採決に加わらず、欠は欠席、×は反対、○は賛成、棄は棄権、除は除斥・・・本人等に関わる議案については審議に参加できないこと)



副議長就任挨拶

田辺 稔

この2年の間に2つの会派が生まれ、議会の側にも活気がよみがえり議会改革の流れが進み始めています。市民の生の声を市政に反映するため、直接議会で発言する仕組みも考えられています。「チーム議会」として議長を補佐し、この改革の流れを止めることなく職務を全うしてまいります。御指導の程よろしくお願い申し上げます。



監査委員就任挨拶

広瀬 和彦

監査委員は、毎月の例月監査や決算・予算監査を含め一般会計や特別会計、公営企業会計など、行政運営の評価と透明性、健全性を確保する上での監視機能を担っています。このたび監査委員として選任され重責ではありますが、精一杯取り組んでまいります。市民の皆さまのさらなる御支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

広聴部会からのお知らせ

■ 議会報告会（予定）

日	時	場 所
11月 5日(火)	19時～20時30分	国府公民館
11月 6日(水)	19時～20時30分	クルトピア明郷
11月 8日(金)	19時～20時30分	協和公民館
11月18日(月)	19時～20時30分	府中市保健センター(リ・フレ)
11月20日(水)	19時～20時30分	上下町民会館
11月23日(土)	14時～15時30分	i-coreFUCHU(府中天満屋内)

■ 議会フリースピーチ

12月に議会フリースピーチを行います！

日頃感じている市政のことについて、市民の皆様に議場で直接発言していただきます。発言いただいた内容は、全員協議会でさらに調査・研究し、議会提案等へ生かす取り組みを目指します。

詳細は9月1日の「広報ふちゅう」でお知らせいたします。

これからも、もっと身近で、もっと開かれた議会を目指し、市民の皆さんと一緒に住みやすい府中市へ挑戦します。

議会の動き（4～6月）

4月9日

広報広聴特別委員会（議会だより編集会議）

4月19日

議会運営委員会（5月臨時会の議会運営）

5月9日

議会運営委員会（5月臨時会の議会運営、6月定例会の議会運営）

5月16日

5月臨時会

5月27日

議会運営委員会（政策提言サイクルの活動、3月定例会の振り返りに係る今後の対応）

5月29日

総務文教委員会（委員会スケジュールの確認、所管事務調査、管内視察、行政視察）

5月31日

厚生委員会（委員会スケジュールの確認、所管事務調査、管内視察、行政視察）

6月3日

広報広聴特別委員会（部会編成及び部会長の互選、部会活動の役割分担と今年度の活動内容）

6月6日

賑わいづくり特別委員会（調査事項）

6月7日

建設産業委員会（委員会スケジュールの確認、所管事務調査、管内視察、行政視察）

6月10日

厚生委員会（行政視察、管内視察・意見交換）
総務文教委員会（行政視察、管内視察・意見交換）
建設産業委員会（行政視察）

6月11日

議会運営委員会（6月定例会の議会運営、会派持ち帰り事項）

6月17日

6月定例会

～7月2日

6月17日

広報広聴特別委員会（各部会からの報告事項・協議事項、部会活動）

視察の受け入れ

5月9日

岡山県真庭（まにわ）市（コミュニティ・スクール）



編集後記

議会の体制が一新され、市民の積極的な市政参画を目指し、市民の声を聴く「広聴」と、市民へ発信する「広報」の機能を強化するため、新しい広報広聴特別委員会が立ち上がりました。委員会の中に「広聴部会」と「広報部会」が設置され、議会だよりの編集は「広報部会」のメンバー6人が担当することになりました。部会長としてメンバーと力を合わせ、これから2年間、市民の皆さんに手に取ってもらえるような誌面を目指し頑張ります。また、SNSなど議会だより以外の発信方法も研究し、多様な方に多様な手段で議会の情報を届けたいと思います。よろしくお願いいたします。

(土井)

議会だよりへのご意見・感想お待ちしております。

TEL(0847)44-9182

FAX(0847)45-3212